



ほけんだより



2024年6月号 園長 山下 優美
看護師 吉木 美恵

劇症型溶血性レンサ球菌感染症

人食いバクテリア???

メディアでも取れ上げられている「人食いバクテリア」ですが、原因となる菌は子どもがかかる「溶連菌」と同じです。

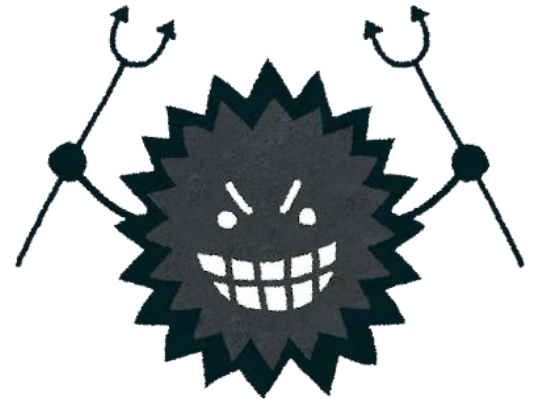
園内でも、今年は例年よりも溶連菌感染症にかかる子どもが多いです。

子どもは、喉の痛みや発熱症状が主症状となります。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/341-stss.html> (厚労省ホームページ)

は、発熱が最も一般的な症状ですが、手や足の痛みから始まり、壊死を起こしたり、急激に症状が悪化しショックを起こす事もあります。特に妊産婦や高齢者、基礎疾患の有る大人の方は注意が必要です。



現在、北海道はここ 10 年で最多のペースで増えています。

子どもの「溶連菌」を放置しないで、病院に受診てしっかり薬の飲み切ってください。



爪は大丈夫？



外での活動が増えてきて、子ども達は小さな虫をつまんだり、砂を深く掘ってトンネルを作ったり、子ども達の手は実に巧みに動き目は輝きを増しています。

そんな素敵の手ですが、直接口の中へも色々な物を運びやすい道具となってしまいます。

◎手洗いだけでは、爪の中までは十分に洗えません。

◎爪の中に汚れが残らないよういつも爪を短く切っておくことが大切となります。

◎足の爪が伸びているお子さんもいます。知らないうちに爪が割れてしまっているお子さんもみられます。

◎小爪のあるお子さんもいます。

お休みの日には、お子さんを膝の上に乗せ、優しく語りかけそのかわいらしい手でどんな楽しい体験をしたか、お話しを聞く素敵な爪切りタイムを作ってみてはいかがでしょうか？

